

チームオレンジに参加してみませんか

チームオレンジとは、地域の認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組みです。県では「山形県認知症施策推進行動計画」（令和3年3月改訂）において、令和5年度までに「20市町村」、令和7年度までに「全市町村」にチームオレンジを設置することを目標に掲げており、各市町村に対する支援や、立ち上げや運営支援を行うチームオレンジ・コーディネーターを育成するための研修を実施しています。



しかし、現在チームオレンジを設置している市町村は県内6市町にとどまっており、設置に向けた取組みを進めていく必要があります。

チームオレンジの活動内容に決まりはなく、全国的には認知症の方からの相談を受けるだけでなく、ゴミ出し、見守り支援、買い物の同行や映画の上映会といった活動を実施しているところもあるようです。

認知症カフェは、既にこのような活動をしているところもあり、チームオレンジの設置についても認知症カフェをベースとしている場合が多い傾向にあります。県内の認知症カフェでもそのような活動をしているところがあるのではないのでしょうか。県としても、認知症の理解を深め、支援活動を実施している皆様にチームオレンジとして活動していただきたいと思っております。チームオレンジに興味があるという場合は、カフェの所在する市町村又は県認知症施策担当者あてにお気軽に御一報ください。

さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

認知症の人と家族の一体的支援プログラム

令和5年8月27日に「認知症カフェ そして認知症の人と家族への一体的支援プログラム」と題した、矢吹知之先生（高知県立大学社会福祉学部准教授）の講義にオンライン参加しました。

「一体的支援事業」とは、公共のスペースや既存の施設等を活用して、本人と家族が共に活動する時間と場所を設け、本人支援、家族支援及び一体的支援からなる一連のプログラムを実施する仕組みです。現在も、認知症カフェに本人と家族と一緒に参加される光景は見られますが、これはあくまでも認知症カフェを活用した独自の事業です。国が示す一体的支援事業において、「本人支援」は認知症本人の希望に基づく主体的なアクティビティの実施や本人同士の語り合いの場を設けることであり、「家族支援」は家族同士や専門職を交えた語り合いの場を設け、家族への心理的サポートと情報交換を行うことです。こうした2つの活動を経たうえで、「一体的支援プログラム」は、本人と家族と一緒に活動することで、家族が本人の新たな可能性に気づき、本人と家族の間で新たな関係性が構築されることが期待されます。

山形県内では、100か所以上「認知症カフェ」があり、それぞれの地域で様々な活動に取り組まれています。本人や家族は、年齢を問わず、病気になり診断を受けたことで落ち込み、こもりがちとなり、これから先への不安を抱えながら生活しています。

今年6月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が制定されました。今後各自治体でも、取組みが一層推進されると思いますので、これまで以上に当事者の声に耳を傾け、共に安心して暮らせる社会づくりを地域全体で考えていきましょう。
(相談員 佐藤ひとみ)

～共生社会実現に向けて～

今年成立した「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」で、地域住民や地域の多様な主体が参画して、人と人、人と社会が世代や分野を超えて繋がりが合うことで、地域住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会を目指すという取組みが求められています。

そこで、今回は共生社会に向けた活動団体の一つとして、「JRC」をご紹介します。

JRCの正式名称は「Junior Red Cross」といい、訳すと「青少年赤十字」という意味です。JRCは青少年が赤十字の「人道」という精神に基づいて活動を行い、「健康・奉仕・国際親善」を実践目標として、心豊かな人間性や自己教育力を育成するために様々な取組みをしています。そして「共に生きる」社会に積極的に参加していける人を育成しサポートしており、山形県内でも、小・中・高等学校、特別支援学校、幼稚園、保育園などがメンバーとして加盟し、多様な活動をしています。

中でも、県立荒砥高等学校（白鷹町）は、今年でJRC加盟60周年となります。

荒砥高等学校では、これまでの活動として、地域の

山間部にある高齢者宅の雪かきボランティアや、白鷹町紅花摘みボランティア、清掃活動などを行ってきました。また、地域のコミュニティセンターの催し物に参加し、吹奏楽部の演奏や、ボランティアスタッフとして活動してきました。コロナ禍にあっても、保健委員会を中心に、赤十字の方に協力を頂きながら、地域の献血会場向けに献血推進活動の動画を作成しました。今年度からは徐々に活動も再開し、産業フェアや芸術祭への企画運営やボランティア活動を実施する予定のようです。担当の先生より「地域活動に参加することで、世代を問わず関わりを持つことができ、生徒も楽しんで参加している。今後も様々な活動を通して、地域の皆様と一緒に地域を盛り上げていきたい」というお話をいただきました。

さくらんぼカフェとしても、認知症になっても安心して希望を持って生活できる社会の実現に向けて、取組みを進めてまいりたいと思います。



インフォメーション

◆オンライン情報交換会のお知らせ◆

今年度の地区ごとの情報交換会は、10月に庄内地区、11月に村山地区と最上地区で行われました。日頃の活動を報告し合いながら、皆さん有意義に参加されたようでした。全体会も是非オンラインで参加してみませんか。

日時：令和6年1月18日（木）13時30分～14時45分

(Zoom ホスト さくらんぼカフェ)

◆オレンジランプ上映のご案内◆

映画「オレンジランプ」山形上映を通して、認知症の先に希望の光が見える地域の実現を願って〈映画「オレンジランプ」山形上映をひろめる会〉を立ち上げました。お住いの市町村で、この映画の上映を実現していただき、認知症の人と共に地域の中で生きることの出来る「共生社会」の実現の一助としていただければ幸いです。

お問合せ先：テレビユー山形 営業局事業部内 電話番号：023-624-8179

ホットな話題をお届けします！

◆認知症サポーター養成テキストが新しくなりました◆

全国キャラバン・メイト連絡協議会作成の、「認知症サポーター養成講座標準教材」が新しくなりました。令和6年度からの講座では新版を使用するの開催になります。

新版において、情報がアップデートされたほか、わがこととして考えることの大切さや、認知症当事者の思いが多く掲載されています。

共生社会の実現に向け、認知症に関する正しい理解を深めていきましょう。

発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター（山形市 県小白川庁舎内）

電話・来所相談・カフェオープン 月曜～金曜日 昼12時～午後4時

TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 E-mail kazokunokai@camel.plala.or.jp

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。